

里なび研修会 in 北海道

里地里山保全再生計画策定研修 苅澗川周辺の里地里山一体的保全活用

日時 2008年12月4日(木) 5日(金)

集合場所 大沼国際セミナーハウス(北海道七飯町)

活動団体 NPO法人ねおす



里地里山の生物多様性を保全再生するための計画策定研修会を行います。この研修会では、北方系と南方系の植生が混生する七飯町大沼で、里地里山計画策定手法のひとつである地元学調査、調査のまとめ、計画策定の3段階を実践的に取り組みます。

調査手法は簡単です。みんなで苅澗川周辺の生きもの、生活文化、食文化調べを行います。地域のおじいさん、おばあさん、子どもたち、研究者、行政の方々の多数のご参加を歓迎します。

研修を通じて、地域資源(地域の宝もの)カード、地域資源(地域の宝もの)マップを作り、これからの活動に向けた計画を話し合います。

生きもの調査…流山温泉付近の昔水田であった場所を中心に、苅澗川の集水域のイヌコリヤナギ灌木林、ハルニレ林、ヨシ原などの湿地、流れ山のミズナラ林、カラマツ人工林周辺での調査を行います。

食と生活文化調査…流山温泉付近を対象に苅澗川の集水域での調査を行います。必要に応じて、精進川、雨鱒川の集水域、大沼、小沼、じゅんさい沼周辺での調査を加える場合があります。この調査を通じて、里地里山保全再生にとって重要な要素である軍川・東大沼独自の食や生活文化を共有します。

里なびとは

里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。人々は、里地里山から薪などのエネルギーや建材などの素材、食料などを手に入れ、同時にたくさんの生きものが息できる共生の場を守ってきました。日本人の原風景をなし、心のゆたかさを育んだ里地里山が、全国各地で荒れています。それにとまって日本の生物多様性がそこなわれ、土砂災害や農業への鳥獣害被害なども起きています。

里地里山の大切さを学び、里地里山を守るために、住民をはじめ多様な主体による計画づくりや都市住民のボランティア参加などの具体的な方法を考え、提案します。

「里なび」研修会は、全国10カ所で開催地の状況や課題に合わせて専門家を交えながら実践的な保全再生計画づくりや作業技術を向上させるための研修を行います。各地の研修内容は、地域の保全活動団体等とともに企画しました。里地里山の生態系を保全するための活動計画づくり、都市との交流など、新たな活動のきっかけづくりのために、ひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしています。

■対象者

これから里地里山のボランティアをやってみたい方、里地里山の保全再生活動を行っている団体等、地域のリーダー、地方自治体の担当者の方

■参加方法

参加費無料。先着申込制です。定員になりましたら締め切らせていただくことがあります。電話、FAX、電子メールで里なび事務局までお申し込みください。

参加日時、お名前、参加者数、連絡先(電話、FAX、電子メールのいずれか)をお知らせください。

ホームページからも参加申し込みができます。

里なび <http://www.satonavi.go.jp>

■お問い合わせ・受付先(里なび事務局)

財団法人水と緑の惑星保全機構・里地ネットワーク事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3F

■スケジュール

集合

大沼国際セミナーハウスパウワウ・ハウス第4研修室

12月4日(木)

- 9:00 里地里山保全再生計画策定方法の説明
竹田純一(里地ネットワーク事務局長)
- 10:00 フィールドワーク「里地里山たんけん隊」
苅澗川周辺の食と生活文化
食: 牧下圭貴(農と食の環境フォーラム代表)
生活文化: 竹田純一
- 12:00 昼食
- 13:00 「苅澗川周辺の食と生活文化チーム」
講師: 牧下圭貴、竹田純一
「流れ山と湿地の生き物調査チーム」
講師: 堀繁久(北海道開拓記念館学芸員)
- 16:30 終了

12月5日(金)

- 9:00 前日調査にもとづくテーマ別のまとめと共有
 - 13:00 調査結果報告と里地里山保全再生計画策定方法のおさらい
 - 14:30 解散
- 雨天時は、ヒアリング調査を中心に行います。

■持参品

持ち物 筆記用具、防寒具、汚れてよい服装、雨具

■交通・宿泊

大沼公園からの送迎(無料)、宿泊手配(実費負担)ご希望の方はお問い合わせ・受付先にご連絡ください。